

公共施設のファシリティマネジメント ～議員研修会を開催～



◆求められる全体最適

高山市公共施設白書によって、市の所有する施設やインフラが今後老朽化し、その維持管理費に膨大な財源が必要となる見通しが示された中、人口減少や財政難・市民ニーズの変化も的確にとらえ持続可能な公共サービスの提供に向けて、経営的な視点から全体最適を図るマネジメントが求められてきます。

その基本理念と実践的な取り組みについて学んだ研修会は大変有意義であったとらえています。

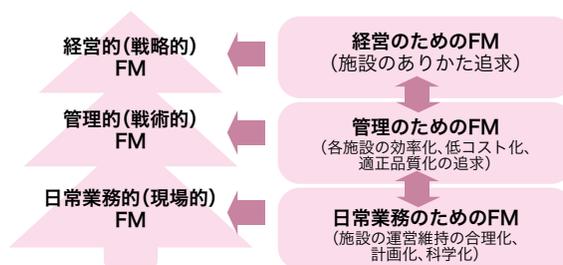
この研修会には、市の担当部局をはじめ関心の高い職員にも聴講していただいたところです。

◆基盤環境委員会が研修会を主催

今年度、基盤環境委員会が政策課題として取り上げ、調査研究してきた「公共施設のファシリティマネジメント」について、全議員で情報共有を図り認識を深める目的で、議員研修会を開催しました。

講師には、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会の成田一郎常務理事と、千葉県佐倉市資産管理経営室の増澤文夫室長をお招きして、それぞれに講演いただいた上で質疑・意見交換を行いました。

ファシリティ・マネジメントとは？



地方公共団体が所有する施設とその環境を経営にとって最適な状態（コスト最小、効果最大）で保有し、運営し、維持するための総合的な経営管理活動。ライフサイクルコストを通しての全体最適を図る。

千葉県佐倉市の実践

市民が自ら考えるきっかけとして、公共施設白書を毎年更新して公表。

その中で、収入・支出（光熱水費・維持管理費・運営費・人件費）、収支比率、利用者一人1回に係る経費を経年変化で示し「見せる化」を図っている。

これは市長によるトップダウンで、目の前にある出来ることから取り組む実践的モデル。



H 28.2 基盤環境委員会視察

◆高山市も公共特別会員として登録

なお、高山市も日本ファシリティマネジメント協会の公共特別会員として登録することとなりました。これにより、各種セミナーへの参加、調査研究の情報提供などを受けることができるようになりました。